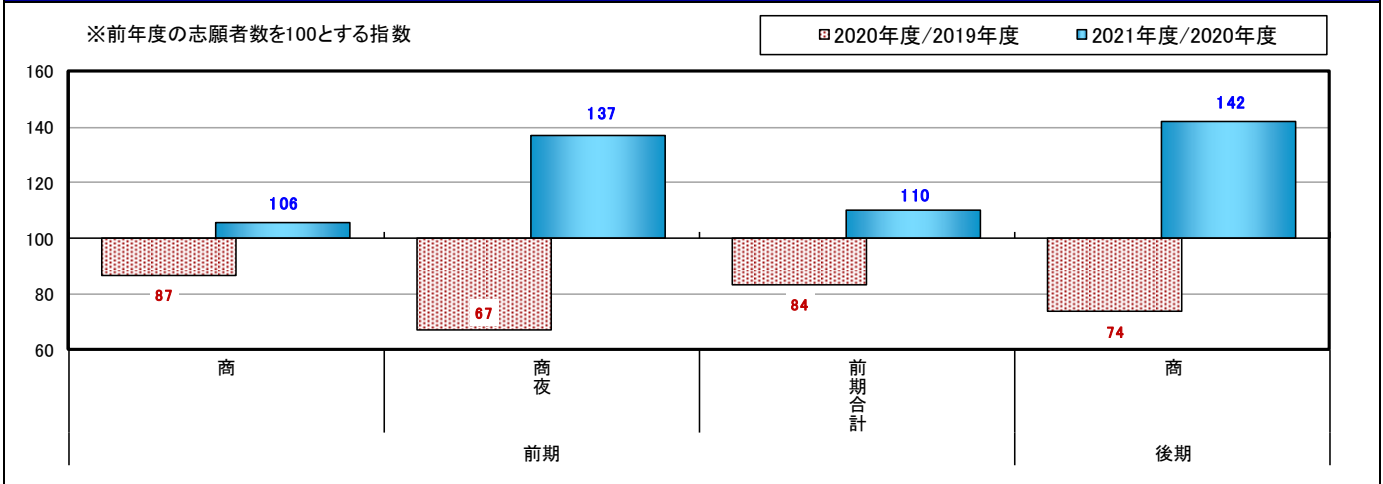


2021 年度入試状況分析【国公立大】

小樽商科大：前年度減少の反動で、前期はやや増加、後期は大幅増加 前期：+74人 後期：+121人



入試変更点	選抜方法：商<前>…従来の方式を英語重視枠に名称変更、数学重視枠新規実施 募集人員：商<前>…280人→<英語重視枠>230人、<数学重視枠>50人 ※申請は一括で行うが、初めに数学重視枠の配点基準で上位50名の合格者を決定し、次に合格者に含まれなかった受験者の中から英語重視枠の配点を用いた残りの合格者を決定。 商<後>…90人→70人
--------------	--

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度大幅減少の反動で74人(110)の増加。夜間主コースを除いても、(106)のやや増加。後期は昼間コースのみの募集だが、前年度大幅減少の反動で121人(142)の大幅増加。募集人員が20人減少した影響は見られず、志願倍率は、3.2倍→5.9倍にアップ。

<前期日程>

- 商(106)は、前年度減少の反動でやや増加。選抜方法の変更があったが、募集単位は<英語重視枠><数学重視枠>を一括で募集し、合格者の判定方法の変更だけだったので、志願動向への影響はなかった。
- 商夜(137)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も5.1倍→7.0倍にアップ。